

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリシップで目標を達成しよう



本事業は、SDGsの「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「17 パートナリシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2021 年 11 月 30 日（火）
 愛知県経済産業局スタートアップ推進課
 海外連携グループ
 担当 辻本、金丸、深尾、戸田
 内線 5181、5189、3678
 ダイヤルイン 052-954-7474

～Aichi Smart Sustainable City Co-Creation Challenge～ シンガポールスタートアップエコシステム連携事業の 参加者を決定しました

愛知県は、先進的なスタートアップ支援の実績を持つシンガポール国立大学(NUS)と 2019 年 9 月に締結した「スタートアップ支援分野における連携協力に関する覚書」に基づき、“スマートサステイナブルシティ”^{※1}の実現を目的とした産官学共創型のグローバルプログラムを昨年度から実施しています。

この度、プログラムの参加スタートアップを募集し、国内外から応募があった 62 社 67 件についてチャレンジオーナー^{※2}による審査を実施した結果、3つのテーマに参加する9社を決定しました（募集については9月14日発表済み。）。

また、併せて募集していた、県内外又は東南アジアのスタートアップとのネットワークを有し、本事業の PR 等に協力いただく企業や団体「コミュニティパートナー」15 社・団体を決定しました。

今後、参加スタートアップはチャレンジオーナーとともに、各テーマの課題解決に取り組めます。

※1 AI や ICT 等の最先端技術を活用して作る持続可能な社会

※2 各テーマと密接な課題を有し、スタートアップ等との共創による課題解決を目指す県内の企業又は団体。今年度は3社・団体を決定（9月14日発表済み。）。

1 プログラム参加者【スタートアップ】

愛知県、及び株式会社 アイシーエムジー I C M G（県事業委託先）との協議を踏まえてチャレンジオーナーによる書類審査を実施した結果、以下の9社をプログラム参加スタートアップとして選定しました。

テーマ1「デジタルトランスフォーメーションによる愛知県の産業発展」

～自律モバイルロボット“エアiR”の活用を起点とした社会課題の解決～

チャレンジオーナー：株式会社豊田自動織機（刈谷市）

会 社 名	所在地	アイデア概要	
オンクラウド OnClouds株式会社	名古屋市 中村区	AiR を活用したロボット協働プラットフォームの検証	
		Web サイト	なし
エイチスリー ダイナミクス ホールディングス H 3 Dynamics Holdings Pte. Ltd.	シンガ ポール	建築物の内部点検作業への AiR の活用	
		Web サイト	https://www.h3dynamics.com

テーマ2「多様なプレーヤーによる、人口減少社会における持続可能な自治体政策モデルの共創」

～人口減少社会における、持続可能な自治体運営モデルの共創～

チャレンジオーナー：半田市

会 社 名	所在地	アイデア概要	
株式会社 ^{ヤオトミ} yaotomi	半田市	クラシティ半田を拠点に、食で彩る産業ブランディング	
		Web サイト	https://www.yaotomi831.jp
ライブズ ハッチャー Lyves Hatcher Pte. Ltd.	シンガポール	学生の心理状態を AI によって可視化し、学習効率の向上・個別最適化の実施	
		Web サイト	なし
リッスンフィールド ListenField株式会社	名古屋市 中村区	データを活用し、農作物の植え付けから収穫までを効率化	
		Web サイト	https://www.listenfield.com
株式会社 ^{ヒシャブ} Hishab Japan	北海道 札幌市	電話対応業務を AI 会話エンジンで完全自動化	
		Web サイト	https://hishab.co

テーマ3「すべての人が生涯輝き、活躍できる『Well being^{ウェルビーイング}な地域づくり』」

～ヤングケアラーの発見・支援をITで最適化し、愛知県民の Well being 向上を実現～

チャレンジオーナー：日本特殊陶業株式会社（名古屋市瑞穂区）

会 社 名	所在地	アイデア概要	
ユニロボット株式会社	東京都 渋谷区	音声 AI を利用し、感情を音声から分析してヤングケアラーのメンタル状態を可視化	
		Web サイト	https://www.unirobot.com
サウンドアイ SoundEye Pte. Ltd.	シンガポール	異常な音を検知する高齢者等の見守り機能により、ヤングケアラーの支援負担を軽減	
		Web サイト	https://sound-eye.com
オプシス Opsis Pte. Ltd.	シンガポール	表情分析により、認知症予備軍等の要支援者の早期発見及びヤングケアラーのメンタル状態を可視化	
		Web サイト	https://opsis.sg/en

2 プログラム参加者【コミュニティパートナー】

応募のあった15社・団体全てを、コミュニティパートナーとして選定しました。

① ローカルパートナー

- ・株式会社三菱 UFJ 銀行（東京都千代田区）
- ・NOBUNAGA キャピタルビレッジ株式会社（岐阜県岐阜市）
- ・株式会社名古屋銀行（名古屋市中区）
- ・株式会社 MTG Ventures（名古屋市中区）
- ・ミッドランドインキュベーターズ（名古屋市中村区）
- ・サステイナブル・ストーリー株式会社（名古屋市中村区）
- ・^{トンガリ}Tongaliプロジェクト（名古屋市中村区）

- ・なごのキャンパス（名古屋市西区）
- ・株式会社スギ薬局（大府市）

② グローバルパートナー

- ・National University of Singapore（シンガポール）
- ・BLOCK71 Singapore（シンガポール）
- ・One & Co（シンガポール）
- ・Sustainable Living Lab（シンガポール）
- ・e27（シンガポール）
- ・Action Community for Entrepreneurship（シンガポール）

3 今後のスケジュール

12月～2022年3月 コクリエーション（共創）

チャレンジオーナーとプログラム参加スタートアップ等によるビジネスモデルの作成を以下の手法で支援

- ・県事業委託先である株式会社ICMGによる共創型の事業モデル創造に向けたファシリテーション、愛知県による実証実験場所提供等の行政的支援
- ・NUSを始めとするシンガポールのイノベーション関連機関によるイノベーションに関する知見共有のためのワークショップ等を実施

2022年1月 中間 Demo Day

プログラムを通じて共創中の事業アイデアの発表をすると共に、コミュニティパートナーを始めとする参加者との意見交換を実施し、事業アイデアを改善

2022年3月 Demo Day

プログラムを通じて作り上げた事業アイデアを発表

4 問合せ先

愛知県経済産業局スタートアップ推進課 海外連携グループ 辻本、金丸、深尾、戸田
 電話：052-954-7474 メール：startup@pref.aichi.lg.jp

Aichi Smart Sustainable City Co-Creation Challenge の概要

1 プログラムの目的

県内の企業や団体、国内及び東南アジアのスタートアップ等との共創により、愛知県における“スマートサステナブルシティ”の実現を目指します。

2 スケジュール

- ① テーマの設定（4月～5月）
あいちビジョン 2030 を参考に、本プログラムで取り組むテーマを設定
- ② チャレンジオーナーの募集（6月1日発表済み。）及び選考審査・決定
（8月2日発表済み）（6月～8月）
- ③ チャレンジステートメント（本プログラムで取り組む課題の詳細）の設定（8月）
- ④ プログラム参加企業等の募集（9月14日発表済み。）及び選考審査（9月～10月）
- ⑤ **プログラム参加企業等の決定（11月）※今回発表**
- ⑥ コクリエーション（共創）（12月～2022年3月）
チャレンジオーナーとプログラム参加スタートアップ等によるビジネスモデルの作成を以下の手法で支援
 - ・県事業委託先である株式会社 ICMG による共創型の事業モデル創造に向けたファシリテーション、愛知県による実証実験場所提供等の行政的支援
 - ・NUS を始めとするシンガポールのイノベーション関連機関によるイノベーションに関する知見共有のためのワークショップ等を実施
- ⑦ 中間 Demo Day（2022年1月）
プログラムを通じて共創中の事業アイデアの発表をすると共に、参加者との意見交換を実施し、事業アイデアを改善
- ⑧ Demo Day（2022年3月）
プログラムを通じて作り上げた事業アイデアを発表

3 各テーマの概要

テーマ1「デジタルトランスフォーメーションによる愛知県の産業発展」

～自律モバイルロボット“AiR”の活用を起点とした社会課題の解決～

チャレンジオーナー：株式会社豊田自動織機（刈谷市）

自律モバイルロボット“AiR”の活用を起点とした外部との共創により、既存の事業の枠組みを超えた価値提供のあり方を検討する。

- ・“AiR”を活用し、国内外の社会課題、潜在的なニーズを解決する斬新なアイデア、ソリューションの創出



AiR の画像

テーマ2「多様なプレーヤーによる、人口減少社会における持続可能な自治体政策モデルの共創」

～人口減少社会における、持続可能な自治体運営モデルの共創～

チャレンジオーナー：半田市

行政の持つ様々なリソースを活用・解放しながら、共創型で以下のテーマ領域の課題解決を目指し、持続可能な自治体運営モデルの構築につなげる。

- ・半田市の中心市街地の活性化：高架下空間の有効活用、周遊性の創出による“賑わいのある“Walkable City”の実現
- ・教育のDX推進：“社会とのつながり”の創造、およびSTEAM教育※を通じ、子供の将来の多様な選択肢の実現
- ・持続可能な農業の創造：農家の収益性の向上および、身体的、精神的な負荷をやわらげ、“持続可能な経営体”に変革
- ・次世代型のパークマネジメントの実現：地域のコミュニティ創造の場、生活者の憩いの場など、公園の有する潜在価値の解放
- ・半田市のスマートサステイナブルシティ実現に向けたアプローチの探索：半田市のイノベーションの加速

※ Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics 等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

テーマ3「すべての人が生涯輝き、活躍できる『Well being な地域づくり』」

～ヤングケアラーの発見・支援をITで最適化し、愛知県民のWell being 向上を実現～

チャレンジオーナー：日本特殊陶業株式会社（名古屋市瑞穂区）

ヤングケアラー問題の解決を起点として、医療や介護、教育など様々な領域の社会課題解決を実現し、県民のWell being 向上を目指す。

- ・発見が難しいヤングケアラーの早期発見及び支援をする事業モデルの創造
- ・将来的な医療・介護、教育等の他分野への展開も見据えた県民のWell being の向上

4 実施主体

主催：愛知県 運営：株式会社ICMG（県事業委託先）

協力：シンガポール国立大学（NUS）／NUS エンタープライズ

1. シンガポール国立大学

1905 年に設立されたシンガポールの総合大学である。シンガポール国内では西の南洋理工大学（NTU）とともにシンガポールの双璧をなす大学である。QS 世界大学ランキング（イギリスの大学評価機関の調査）によると、アジア No. 1、世界 No. 11 の大学としてランクインしている。

学生数は 4 万 2,600 人、17 の学部からなり、留学生も東南アジア諸国、中国、欧米やアフリカなどを含め、100 ヶ国以上から全学生の約 3 割を迎え、非常に国際色豊かな大学である。

2. NUS エンタープライズ

シンガポール国立大学が、スタートアップ支援を目的とする機関として、2002 年に設立。NUS エンタープライズでは、NUS の学生が、海外の企業でインターンシップを経験できる、「NUS Overseas Colleges Program」の実施や、インキュベーション施設である「BLOCK71」の運営をしており、世界で活躍する学生や起業家を 4,000 人以上育成してきた。

3. 愛知県とシンガポール国立大学の関係

愛知県とシンガポール国立大学は、2018 年 8 月 17 日に、科学技術分野における包括的な連携協力の推進を目的に覚書を締結し、名古屋大学や国立長寿医療研究センター等の県内機関と NUS との連携協力を促進してきた。その後、2019 年 9 月 10 日には、新たに「スタートアップ支援分野」に特化した覚書を締結し、両機関においてスタートアップ支援分野における連携協力を推進している。

（1）科学技術分野における連携協力に関する覚書

【連携協力の範囲】

材料工学、交通工学、老年医学・老年学、情報科学、双方で合意されたその他の分野、双方の若手人材の育成

（2）スタートアップ支援分野における連携協力に関する覚書

【連携協力の範囲】

ビジネス展開支援分野、アントレプレナーシップ教育分野、スタートアップ支援拠点整備分野、双方で合意されたその他の分野

4. 株式会社 I CMG

I CMG は、「世界にとって本質的に意義のあるイノベーションを創り出す」を目的とし、アジアを中心としてイノベーションエコシステムを形成しながら、ステークホルダーとの共創型でイノベーションを創り出すイノベーションコクリエーター。